

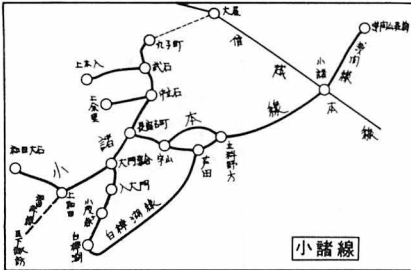
がいちじるしく拡大した場合には、特殊な中空栓を用いることがある。

将来は合成樹脂系の込栓や、樹脂液流し込み等の、くぎ穴部分補強方法が考えられる。

木整込栓はあらかじめクレオソート油で防腐する。(沢田謙二・山本 浩)

こもろせん 小諸線 長野県小諸市・同県諏訪郡北山町間、同

県小諸郡丸子町・和田村間および小諸市・浅間山荘前間を結ぶ国鉄自動車路線で所管する自動車営業所は小諸市に、同支所は小諸郡長門町にある。



1 区間およびキロ程

小諸本線	小諸・上和田	35 km
	立科野方・宇山	4
	長窪古町・丸子町	7
	中立岩・上余里	7
	武石・上本入	12
	上和田・和田大石	5
白樺湖線	芦田・大門落合	42
浅間線	小諸・浅間山荘前	13

2 沿革

小諸本線	小諸・芦田	昭32・3・2開業
	上和田・丸子町	昭 8・3・23
	中立岩・上余里	昭31・6・16
	武石・上本入	昭29・5・27
	上和田・和田大石	昭29・6・30
	立科野方・宇山	昭32・3・2
白樺湖線	大門落合・入大門	昭15・11・15
	入大門・小茂ヶ谷	昭25・10・16
	小茂ヶ谷・白樺湖	昭27・7・1
	白樺湖・長窪古町	昭30・3・15
浅間線	小諸・浅間山荘前	昭32・7・2

3 営業範囲 旅客、手荷物、小荷物および貨物の取扱をしている。

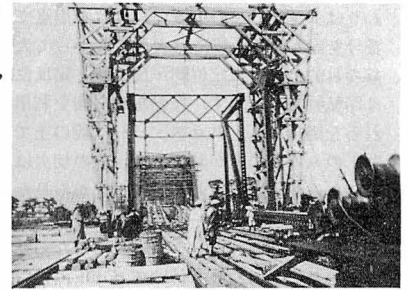
4 特 長 小諸線は諏訪線と連絡し中央線と信越線の短絡となる。小諸線の開通により、霧ヶ峰高原、蓼科高原、白樺湖および美ヶ原高原等の一連の観光地帯への連絡が容易にできるようになり、観光路線の使命を帯びるに至った。また浅間登山も非常に簡単にできるようになった。(可野虎男)

こゆうしほん 固有資本

国鉄について述べると、固有資本は資本金の一部であって、日本国有鉄道法第5条第1項「日本国有鉄道の資本金は、別に法律で定めるところにより、昭和24・5・31における国有鉄道事業特別会計の資産の価格に相当する額とし、政府が全額出資するものとする。」との規定にもとづき、国鉄が公共企業体として発足した昭和24・6・1において、前日の国有鉄道事業特別会計の純資産の額に相当する49億余円を全額政府が出資し、これを固有資本と称している。この資産の額は、日本国有鉄道法施行法第11条「日本国有鉄道法第5条に規定する資本金は、昭和24・5・31における国有鉄道事業特別会計

の資産の価額(調整勘定に計上する額を含む)から、負債の金額を控除した額に相当する金額とする」の規定による資産と負債の差額、すなわち実質的な資産の額である。(中川登代雄)

ゴライアスきじゅうき ゴライアス起重機 (英) Goliath crane 橋形起重機一種で、橋梁(きょうりょう)の鋼構桁(けた)の組立て・架設などに使用する機械である。ゴライアスの語源は、ダビデ(イスラエルの王)に倒された、ペリシテの巨人の名(ゴリアテ)で、がんじょうで大きなものの意味を表わしている。



ゴライアス起重機

橋梁の鋼構桁を架設するとき、あらかじめ鉄製仮構桁(エレクショントラス)あるいは木材で、仮に足場を作り軌条を敷設し、軌条上にゴライアス起重機を動かして、桁の部材組立を行う。この起重機はウインチによって移動させ、部材のつり上げは、起重機の上部または下部の適当な位置にウインチをすえ付けて操作する。(福山健治)

コリコかいしゃ コリコ会社 (独) Collico-Gesellschaft

コリコはわが国の日通式コンテナに類似した折畳み式の、軽金属製または鋼板製コンテナで、西ドイツ、ゾーリングンのコリコ会社の特許品。同社はドイツ連邦鉄道に対して、西ドイツでのコリコの所有と使用について独占権を与える一方、荷主へのその賃貸業務を、同鉄道から独占的に請負っている。全国的な支店網と代理店とにより、原則として鉄道の荷主にのみ賃貸され、1回かぎり使用の場合の臨時賃貸(20日間)と、使用回数無制限の長期賃貸(1年以上)とがある。コリコの自重は普通のコンテナの場合と異なり、運賃計算上貨物の重量に加算され、空のコリコは通例無賃で返送される。保有個数約10万。(鈴木 明)

ごりんきじょう 護輪軌条 (英) guard rail 橋梁(きょうりょう)、踏切、分歧器、曲線などで、車輪の誘導、輪縁路の保護、脱線防止、または脱線車両の危険増大防止を目的として敷設したレール。

橋上護輪軌条(写真-1)は本線路において、とくに必要と認める橋梁に全長にわたって敷設する。普通は軌間内に180mmの間隔で敷設するが、降雪地方またはその他とくに必要ある箇所では、軌間外に敷設してもよい。なおまた橋上護輪軌条は、通常本線レールと同じ大きさのものを使用するが、元來車輪を誘導するために使用するものであるから、場合によっては本線レールより小さいものを使用してもよいことになっている。

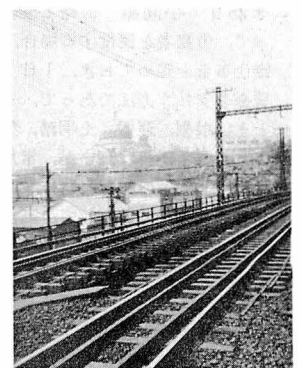


写真-1. 橋上護輪軌条

護輪軌条には継目板を使用して、ボルトナットはなるべく輪縁路外側に取付け、犬釘(くぎ)は、枕木(まくらぎ)1本隔てて